

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	物理学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)・選択科目(建築コース)・選択科目(デザインコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーロンの法則を正確に理解して、数式やことばで説明する。</li> <li>・ガウスの法則を理解して、具体的な問題に適用する。</li> <li>・電位について理解して、電場を積分することにより電位を求める。</li> <li>・静電容量について理解して、直列および並列に接続したキャパシタの容量を基本にもとめて求める。</li> <li>・オームの法則を正確に理解して、数式やことばで説明する。</li> <li>・キルヒホッフの法則を正確に理解して、数式やことばで説明する。</li> </ul>						
日程と内容	9月16日 導入講義、成績評価の法則、電磁気学とは 9月23日 クーロンの法則 9月30日 電場とその概念 10月 7日 ガウスの法則 10月14日 電位 10月21日 導体 10月28日 コンデンサとその役割、容量 11月 2日 コンデンサの合成容量 11月11日 電流がつくる磁場 11月18日 電流が磁場から受ける力 11月25日 磁場中の荷電粒子の運動 12月 2日 電気抵抗、オームの法則 12月 9日 回路方程式の立て方 12月16日 回路方程式の解法 12月23日 総合復習 1月20日 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	40%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	この科目の目標は授業を通しておおむね到達できた。ただし、電位の積分計算は簡単な説明に留まった。						
反省点	前任者の担当授業を受けついで最初の年度であったため、どこに重点をおくべきか定まらなかった。						
来年度の計画	授業内容を、電磁気学から弾性体・熱力学に変更する予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容に対する理解度と、興味に関する項目の評価が低かった。学科の専門とすこしかけ離れているせいかもしれないが、それにかかわらず学問的な興味を示してほしかった。						
履修登録者数	38名	定期試験 受験者数	33名	合格者数	15名	合格率	45%